

令和7年度 関東ユース(U-15)サッカーリーグ2部入替え参入戦 実施要項

2025/11/6

1. 名 称 関東ユース(U-15)サッカーリーグ入替え参入戦
2. 主催 一般社団法人 関東サッカー協会
3. 主管 一般社団法人 関東サッカー協会第3種委員会
4. 協賛 (株)モルテン 大会使用球：アディダス コネクト25 コンペティション
5. 期日 令和7年12月7日（日）
6. 会場 茨城 アントラーズアカデミーフィールド、ひたちなか地区多目的広場C
群馬 調整中
埼玉 秋葉の森総合公園サッカー場
東京 清瀬内山運動公園A
7. 参加チーム 関東2部より4チーム（9位・10位）、各都県より選出された8チーム（都県最上位リーグの3位チーム）
8. 参加資格
 - （1） 大会開催までに（公財）日本サッカー協会に第3種または女子登録したチームもしくは準加盟チームであること。
 - （2）① 第1項のチームに本大会開催までに登録された選手であること。
（カテゴリーはU-14とする。）
 - ② （公財）日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別のチームに所属する選手を移籍手続きすることなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。

尚、本項適用対象となる選手の年齢は4種年代とし、第3種及びそれ以外の年代の選手は適用対象外とする。

 - （3） 都県最上位リーグにて3位になったチームが参加できる。
但し、不測の事態が生じた場合は、都県第3種委員会（部会）にて協議し、関東第3種委員会に報告する。決定は関東第3種委員会が行う。
 - （4） 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。ただし11名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
 - ① 合同するチームおよびその選手は、それぞれ（1）及び（2）の①を満たしていること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
 - ③ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチーム代表者が合議の上、主となるチームが行うこと。
 - ④ 合同チームとしての参加を当該都県サッカー協会第3種委員会が別途了承すること。
9. 競技方法
 - （1） ノックアウト方式で行う。
 - （2） 試合時間は80分（40分ハーフ）とする。また、ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は原則として10分間とする。
規定の時間内に勝負が決しない場合、20分（10分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝敗を決定する。
10. 競技規則
 - （1） 現行の（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2025/2026」による。
 - （2） 大会参加申し込みした最大30名の選手のうち、試合の登録選手は最大25名とする。
また、ベンチ入りのスタッフについては、1～5の優先順位番号をつけること。監督は1。
 - （3） 交代に関しては、登録した14名の交代要員の中から5名までの交代が認められる。
 - ①選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。（1回に複数人を交代することは可能）
 - ②前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの交代選手は、後半の交代回数に含まれない。
 - ③延長戦に入った際、後半に3回選手交代を行った場合でも、選手交代を行うことができる。（交代枠が残されている場合に限る）
（交代の全ての機会に交代用紙を使用する。）
 - ④脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱い、次の通りとする。
 - a. 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。
 - b. 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続き（大会事務局から配布される脳震盪用交代カードを使用する）で行われなければならない。
 - c. 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - d. 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる（以下、本号に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - e. 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。

